

EU Indicators

発表日:2018年9月28日(金)

欧州経済指標コメント:9月ユーロ圏消費者物価

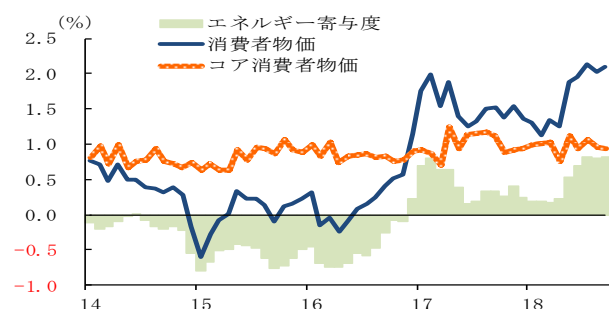
～賃金と物価の曖昧な関係～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

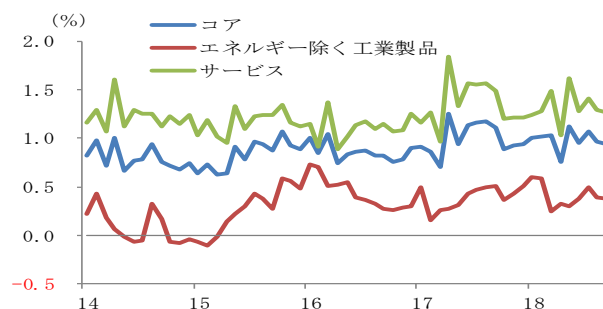
首席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

- ユーロ圏の消費者物価の9月速報値は前年比+2.1%と前月の同+2.0%からやや加速し、4ヶ月連続でECBが中期的な物価安定と定義する「2%を下回るがそれに近い」水準を超過。速報段階で入手可能な内訳は、コア物価(同+1.0%→同+0.9%)の上昇率が鈍化した一方で、原油高を背景にエネルギー価格(前月:同+9.2%→今月:同+9.5%)、生鮮食品を中心に食料・アルコール飲料・たばこ価格(同+2.4%→同+2.7%)の上昇率が加速し、全体の計数を押し上げた。
- 既報の国別計数(ベルギーを除いて統一基準)は、ドイツ(同+1.9%→同+2.2%)、ポルトガル(同+1.3%→同+1.8%)、ベルギー(同+2.24%→同+2.35%)が加速した一方、フランス(同+2.6%→同+2.5%)が鈍化、イタリア(同+1.6%)、スペイン(同+2.2%)が横這い。
- 四捨五入前のコア物価(同+0.96%→同+0.94%)の鈍化幅は小さい。詳細な内訳は10月17日の確報値を待つ必要があるが、エネルギーを除く工業製品価格(同+0.40%→同+0.38%)、サービス価格(同+1.30%→同+1.26%)が何れも小幅鈍化した。既報の国別計数によれば、ドイツで衣料品やパッケージ旅行が上振れ、スペインで衣料品が下振れした模様。何れも月毎の変動が大きい費目で、全般的な基調としてユーロ圏のコア物価は横這い圏で推移。このところ賃金の上昇傾向が鮮明となっているが、コア物価やサービス物価の押し上げは今のところ確認されない。

■ユーロ圏:消費者物価(前年比)

注:コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: Eurostat

■ユーロ圏:コア消費者物価(前年比)

注:コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価(%)

	2017				2018									
	4Q	1Q	2Q	3Q	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費者物価 (前期比)	0.5	0.5	0.6	-	0.1	0.3	0.0	0.1	0.1	0.4	0.2	0.2	0.1	-
消費者物価 (前年比)	1.4	1.3	1.7	2.1	1.4	1.3	1.1	1.3	1.3	1.9	2.0	2.1	2.0	2.1
コア消費者物価 (前期比)	0.9	1.0	0.9	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	0.8	1.1	0.9	1.1	1.0	0.9
コア消費者物価 (前年比)	0.9	1.0	0.9	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	0.8	1.1	0.9	1.1	1.0	0.9
食料/アルコール/たばこ (前期比)	2.2	1.7	2.6	2.5	2.1	1.9	1.0	2.1	2.4	2.5	2.7	2.5	2.4	2.7
食料 (前期比)	2.2	1.2	2.1	-	1.9	1.7	0.6	1.5	1.9	2.1	2.3	2.0	1.9	-
アルコール (前期比)	0.7	1.6	2.2	-	0.9	1.5	1.5	1.8	2.4	1.8	2.3	2.4	2.5	-
たばこ (前期比)	3.7	4.7	6.0	-	4.0	4.0	3.8	6.3	6.1	6.0	6.0	5.9	5.7	-
エネルギー (前期比)	3.5	2.1	5.5	9.4	2.9	2.2	2.1	2.0	2.6	6.1	8.0	9.5	9.2	9.5

注:消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所: Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。